

第7章 2. 「順列」 第3回

解答

1. (1) 6 (2) 42 (3) 120 (4) 20
(5) 720 (6) 3024 (7) 110 (8) $(n+2)(n+1)$

2. 36 通り

3. (1) 60 通り (2) 24 通り

4. (1) 60 通り (2) 18 通り

5. 32 通り

解説

1. (1) ${}_3P_2 = \frac{3!}{(3-2)!} = \frac{3!}{1!} = 3! = 6$

(2) ${}_7P_2 = \frac{7!}{(7-2)!} = \frac{7!}{5!} = 7 \times 6 = 42$

(3) ${}_6P_3 = \frac{6!}{(6-3)!} = \frac{6!}{3!} = 6 \times 5 \times 4 = 120$

(4) ${}_5P_2 = \frac{5!}{(5-2)!} = \frac{5!}{3!} = 5 \times 4 = 20$

(5) $3! \times 5! = 6 \times 120 = 720$

(6) $\frac{9!}{5!} = 9 \times 8 \times 7 \times 6 = 3024$

(7) $\frac{11!}{9!} = 11 \times 10 = 110$

(8) $\frac{(n+2)!}{n!} = \frac{(n+2) \times (n+1) \times n \times (n-1) \times \cdots \times 2 \times 1}{n \times (n-1) \times \cdots \times 2 \times 1} = (n+2)(n+1)$

2. 両端が子音となるように b, c, d の 3 文字から 2 文字を選び並べると ${}_3P_2 = 6$ 通り. 残りの 3 文字を内側に並べると ${}_3P_3 = 6$ 通り. よって, $6 \times 6 = 36$ (通り)

3. (1) 5 つの数から 3 つを選び並べて 3 けたの数を作るので, 並べ方は ${}_5P_3 = 60$ (通り)

(2) 偶数となるのは, 1 の位が 2, 4 のいずれかであり, 2 通り. 残りの位に 4 つの数から 2 つを選び並べて 3 けたの数を作るので, ${}_4P_2 = 12$ 通り. よって, $2 \times 12 = 24$ (通り)

4. (1) 5 部屋の中から 3 部屋を選ぶ順列となるので, ${}_5P_3 = 60$ (通り)

(2) 3 人が宿泊する部屋の割り振りは, 1~3 号室, 2~4 号室, 3~5 号室の 3 通り. それぞれの 3 部屋において, A, B, C の宿泊の仕方は ${}_3P_3 = 3! = 6$ (通り). よって, $3 \times 6 = 18$ (通り)

5. ボールを 1 ずつ箱に入れていくとき, 2 通りの入れ方がある. 5 回繰り返すことになるので, $2^5 = 32$ (通り)